絹の国ぐんま
周遊アプリ

絹の国ぐんまナビ

きぬめぐり

KINU-MEGURI

きぬめぐり 群馬県公式

絹の国ぐんまには、
世界遺産・日本遺産・
ぐんま絹遺産など
見どころたっぷり！
ぐんまの絹遺産をめぐるなら
このアプリ！

絹遺産だけでなく、
観光スポットなども簡単に
検索できます。
素敵な景品が当たる
様々なスタンプラリーも
お楽しみに！

くわしくはコチラ

群馬県公式無料アプリ　きぬめぐり

群馬県企画部世界遺産課

TEL 027-226-2326　FAX 027-224-2812

ぐんま絹遺産公式ホームページ
URL：http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan/
（「とみきぬ」で検索）

※掲載している情報は、2019年3月現在のものです

ぐんま絹遺産の解説

群馬県は古くから絹産業の盛んな地であり、絹に関するたくさんの文化財などが残っています。群馬県では、県内に残る養蚕・製糸・織物などの絹産業に関わる建造物や民俗芸能などを「ぐんま絹遺産」として登録し、「ぐんまのたからもの」として保存活用を図っています。

世界遺産**「富岡製糸場と絹産業遺産群」**、日本遺産**「かかあ天下−ぐんまの絹物語−」**は、ぐんま絹遺産の代表的な存在です。

世界遺産

富岡製糸場と絹産業遺産群

平成26年に世界遺産に登録された**「富岡製糸場と絹産業遺産群」**は、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本との間の「技術交流」を主題とした近代の絹産業に関する遺産です。

日本が開発した生糸の大量生産技術は、かつて一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広め、その生活や文化をさらに豊かなものに変えました。

1 富岡製糸場　世界遺産・国宝・国重文・国史跡
フランスの技術を導入した日本初の本格的製糸工場
住 富岡市富岡1-1
営 休場日:12月29日～31日
料金／大人1,000円、高校・大学生（要学生証）250円、小・中学生150円
問 富岡製糸場内総合案内所　TEL 0274-67-0075

2 田島弥平旧宅　世界遺産・国史跡
瓦屋根に換気設備を取り付けた近代養蚕農家建築の原型
住 伊勢崎市境島村字新地2243
営 個人宅のため見学範囲は庭および桑場1階。その他建物内部は非公開。
休日:12月29日～1月3日
問 田島弥平旧宅案内所　TEL 0270-61-5924

3 高山社跡　世界遺産・国史跡
日本の近代養蚕法の標準「清温育」を開発した場・養蚕教育機関
住 藤岡市高山237
営 休館日:12月28日～1月4日
問 高山社情報館　TEL 0274-23-7703

4 荒船風穴　世界遺産・国史跡
自然の冷気を利用した日本で最大規模の蚕種貯蔵施設
住 下仁田町大字南野牧甲10690-2外
営 12月～3月は冬季閉鎖
大人500円、高校生以下無料
問 下仁田町歴史館　TEL 0274-82-5345

日本遺産

かかあ天下 −ぐんまの絹物語−

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて「我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定するものです。

日本遺産**「かかあ天下−ぐんまの絹物語−」**は「かかあ」たちが支えた群馬の絹産業を13の構成文化財（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村に存在）で紹介しています。

古くから絹産業の盛んな上州（群馬県）では、女性たちが養蚕・製糸・織物で家計を支えてきました。夫（男）たちは、「おれのかかあは天下一」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になったのです。

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

ぐんま絹遺産ガイド

明治の文豪、徳冨蘆花が随筆で
「機の音、製糸の煙、桑の海」と
表現した群馬県。
ぐんま絹遺産を訪ね、
シルクカントリー群馬の歴史に
触れてみませんか。